



平成26年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 ペプチドリーム株式会社

コード番号 4587 URL <http://www.peptidream.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 窪田 規一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長

(氏名) 関根 喜之

TEL 03-3485-7707

四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第3四半期の業績(平成25年7月1日～平成26年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第3四半期	597	23.3	132	△6.1	159	△5.9	107	△19.4
25年6月期第3四半期	484	—	141	—	169	—	133	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年6月期第3四半期	8	04	—	72
25年6月期第3四半期	12	18	—	—

当社は、前事業年度の第3四半期累計期間から四半期財務諸表を作成しているため、平成25年6月期第3四半期累計期間の前事業年度同期間との比較は行っておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第3四半期	5,959	—	5,821	—	—	97.6
25年6月期	5,926	—	5,696	—	—	96.1

(参考)自己資本 26年6月期第3四半期 5,818百万円 25年6月期 5,693百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
25年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年6月期	—	0.00	—	—	—
26年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年6月期の業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	1,385	104.3	718	347.1	714	310.3	442	222.9	33.45

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年6月期3Q	13,421,300 株	25年6月期	13,241,300 株
26年6月期3Q	— 株	25年6月期	— 株
26年6月期3Q	13,382,687 株	25年6月期3Q	10,967,000 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（平成25年7月1日から平成26年3月31日）において、当社独自の創薬開発プラットフォーム・システムであるPDPS（Peptide Discovery Platform System）を活用した国内外の製薬企業との共同研究開発活動は順調に進捗しております。

平成25年9月には、PDPSを特殊ペプチド創薬開発のデファクトスタンダード・システムとして世界中に展開していく端緒として、PDPSを米国ブリストル・マイヤーズ スクイブ カンパニーに対して非独占的にライセンス許諾する契約を締結いたしました。これは、これまでの3年間にわたる当社との共同研究開発活動の成果により、当社技術・システムの優位性が認められ、特殊ペプチドの創薬候補物質としての可能性が確認された結果と考えられます。

平成25年12月には、新たな共同研究開発パートナーである米国イーライリリー・アンド・カンパニーとの間で創薬共同研究開発契約を締結いたしました。

当第3四半期までにおいては、当社のアライアンス事業及び自社創薬開発研究において、以下の進展がありました。

まず、これまでの低分子や抗体などの創薬候補物質では困難であった細胞内におけるタンパク・タンパク相互反応を特殊ペプチドにより抑制することに成功し、共同研究開発先である英国・アストラゼネカ社から国際学会において当該データが発表されています。これにより、特殊ペプチドは、創薬ターゲットの未知の宝庫と考えられている細胞内のタンパク・タンパク相互作用を抑制することができる物質であると確信することができ、将来的な当社の事業ポテンシャルが一層高まったものと評価しています。

さらに自社創薬研究開発の一環として進めている抗インフルエンザ薬の開発についても順調に進んでおり、これまで抗体では特定することが困難であったインフルエンザウイルスの変異が起こりにくい構造を特殊ペプチドにより特定することができました。このことにより、パンデミック・インフルエンザウイルスにも対応できる可能性を持った高汎用性インフルエンザ治療薬としての特殊ペプチドの開発が可能になり、当初の予定よりも早く前臨床試験を目指せるようになりました。

こうした共同研究開発先との共同研究開発や自社創薬研究開発の進展に伴い、これらの事業を加速させるための投資を行っております。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は597,269千円（前年同四半期比112,789千円増加）、営業利益132,792千円（前年同四半期比8,585千円減少）、経常利益159,348千円（前年同四半期比9,968千円減少）、四半期純利益107,652千円（前年同四半期比25,955千円減少）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①財政状態の分析

当第3四半期会計期間の総資産は5,959,831千円となり、前事業年度末と比べて33,677千円増加しました。その内訳は、売掛金の増加96,978千円等であります。

負債は138,686千円となり、前事業年度末と比べて91,224千円減少しました。その内訳は、未払法人税等の減少42,151千円、前受金の減少47,742千円等であります。

純資産は5,821,144千円となり、前事業年度末と比べて124,902千円増加しました。その内訳は四半期純利益107,652千円の計上、資本金の増加8,654千円、資本剰余金の増加8,654千円等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べ3,481,485千円減少し、2,090,965千円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、当第3四半期累計期間における税引前四半期純利益159,348千円を計上したものの、売上債権の増加額96,978千円、法人税等の支払額59,774千円、未払金の減少額33,338千円、前受金の減少額47,742千円等により、85,612千円の支出(前年同四半期は219,529千円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出28,523千円、定期預金の預入による支出1,200,000千円、有価証券及び投資有価証券の取得による支出2,200,000千円により、3,428,523千円の支出(前年同期比3,383,869千円の支出増加)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、新株予約権の行使による株式の発行による収入17,160千円により、17,160千円の収入(前年同期比572,056千円の収入減少)となりました。

(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成25年8月13日に発表いたしました平成26年6月期の業績予想を据置といたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,572,450	3,290,965
売掛金	146,802	243,780
有価証券	—	2,200,000
繰延税金資産	40,058	16,620
その他	1,264	23,812
流動資産合計	5,760,575	5,775,178
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	5,865	8,377
工具、器具及び備品(純額)	159,528	176,124
有形固定資産合計	165,393	184,501
無形固定資産	184	151
固定資産合計	165,577	184,652
資産合計	5,926,153	5,959,831
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,996	10,282
未払金	49,494	59,549
未払費用	27,708	30,295
未払法人税等	55,728	13,577
前受金	67,403	19,660
その他	21,581	5,321
流動負債合計	229,911	138,686
負債合計	229,911	138,686
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,725,000	2,733,654
資本剰余金	2,721,282	2,729,936
利益剰余金	246,891	354,544
株主資本合計	5,693,174	5,818,135
新株予約権	3,068	3,009
純資産合計	5,696,242	5,821,144
負債純資産合計	5,926,153	5,959,831

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)
売上高	484,479	597,269
売上原価	176,358	233,311
売上総利益	308,121	363,958
販売費及び一般管理費	166,743	231,165
営業利益	141,378	132,792
営業外収益		
受取利息	68	3,780
為替差益	35,934	22,863
その他	1	2
営業外収益合計	36,004	26,645
営業外費用		
株式交付費	2,093	90
株式公開費用	5,972	—
営業外費用合計	8,065	90
経常利益	169,317	159,348
税引前四半期純利益	169,317	159,348
法人税、住民税及び事業税	61,965	28,257
法人税等調整額	△26,256	23,438
法人税等合計	35,709	51,695
四半期純利益	133,607	107,652

（3）【四半期キャッシュ・フロー計算書】

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自平成24年7月1日 至平成25年3月31日）	当第3四半期累計期間 （自平成25年7月1日 至平成26年3月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	169,317	159,348
減価償却費	35,655	52,842
受取利息及び受取配当金	△68	△3,780
為替差損益（△は益）	△21,856	△15,490
株式交付費	2,093	90
株式公開費用	5,972	—
売上債権の増減額（△は増加）	△89,565	△96,978
仕入債務の増減額（△は減少）	4,593	2,285
未払金の増減額（△は減少）	10,381	△33,338
未払費用の増減額（△は減少）	10,448	2,587
前受金の増減額（△は減少）	124,552	△47,742
その他	7,298	△47,390
小計	258,821	△27,566
利息及び配当金の受取額	68	1,728
法人税等の支払額	△39,360	△59,774
営業活動によるキャッシュ・フロー	219,529	△85,612
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	—	△2,200,000
有形固定資産の取得による支出	△44,432	△28,523
無形固定資産の取得による支出	△221	—
定期預金の純増減額（△は増加）	—	△1,200,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,653	△3,428,523
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	595,189	—
株式公開費用の支出	△5,972	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	17,160
財務活動によるキャッシュ・フロー	589,216	17,160
現金及び現金同等物に係る換算差額	21,856	15,490
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	785,949	△3,481,485
現金及び現金同等物の期首残高	229,227	5,572,450
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,015,177	2,090,965

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。